

2019年が幸多き年でありますように……努力を怠らぬにまいりましょう。

西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ NPO市民フェスティバル

■西東京市市民協働推進センターゆめこらぼ主催「NPO市民フェスティバル」が田無駅前のアスタセンターコート（1/19・20）で行われた。NPO団体の活動発表やダンス、演奏、パフォーマンスなど賑やかに。市民との交流ができた。1月20日。

■写真上：理事の高田（左）と渡辺が説明係で参加。

■写真下：参加団体の交流会が1週間後1月26日に。楽しく有益な時間でした。



交流会 2/26

西東京市男女平等推進センターパルティまつり 終了 (2/2・3)



1月28日～2月8日までの12日間開催。

主催：実行委員会・西東京市

講演：上野千鶴子さん。混雑が予想されるため整理券発行。

左写真)生活企画ジェフリーの展示です。2018年1年間の活動を「ジェフリー通信」で報告しました。

秘蔵写真が伝える市川房枝の魅力

大盛況

～不屈の精神と笑顔の源泉～ (2/3)



講師 岩尾光代さん
歴史ジャーナリスト。毎日新聞社「一億人の昭和史」シリーズ編集し歴史写真の考証・発掘を行う。その後「毎日グラフ」から「サンデー毎日」へ。『週刊読書人』『女性展望』に連載執筆中。著書多数。



●講座は大盛況。60代・70代の女性が7割以上を占め、満席(54名)となった。

●昨年の「政治分野における男女共同参画推進法」成立を受け、あらためて女性の参政権の根幹を考えたいと思い、『女性展望』に「市川房枝写真抄伝」を連載されている岩尾光代さんをお願いした。

●写真には背景に時代の空気がある。写真を追うだけでも心が折れそうになるほどの苦難の時代だったが市川房枝はめげなかった。

●市川房枝は友人を大事にした。／周囲の人々との絆が笑顔の源泉だった／何をやってもぶれない不屈の精神・信念をもったひとだった／情に濃いひとだった／感情的にならず冷静な判断ができるひとだった。

受講 報告

女性の人権にかかわる運動はなぜ攻撃や批判をもって受け止められるのか…答えを探して

竹信三恵子さん講師「女性差別の根源を探り、解決への秘策を探る」



●竹信三恵子さんは、「このテーマは難題ですね」と言いつつ、歯切れ良い豊かな言葉で問題の根源を探りながら明日へのヒントをたくさんくださった。生活企画ジェフリー理事長渡辺は進行担当。主催は文京区のグループきらっと。

●女性差別の根源は3つ。家事ハラスメント・新自由主義・企業ファースト化である。女性活躍推進法はズバリ、経済政策である。

●「女性活躍推進法」は「男女共同参画推進法」が進めてきた男女の平等・人権・尊厳・権利などを経済政策にひっくり返してしまった。女性活躍に人権意識はない。私たちが求めるゴールは男女共同参画社会の構築である。

●竹信三恵子さん紹介：和光大学教授・元朝日新聞論説委員。開催日：2月16日。